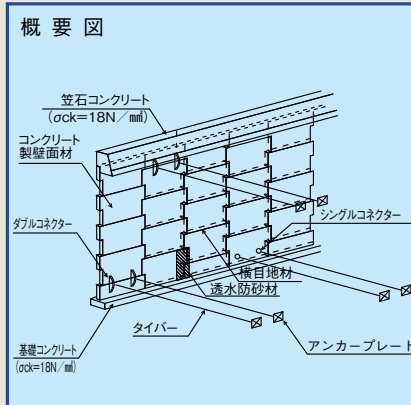




特長

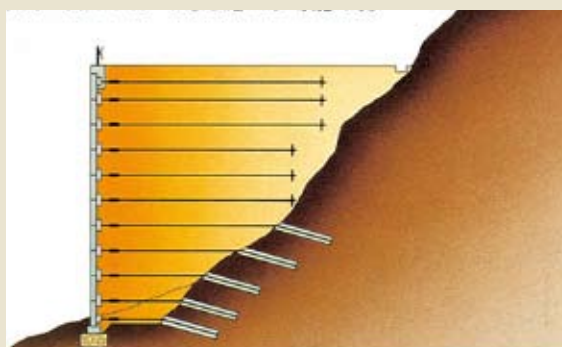
多数アンカー式擁壁工法は、壁体背面にかかる主動土圧をタイバーを介してアンカープレートに伝達しアンカープレートの引抜抵抗と力のバランスによって安定を図る工法です。こうした構造的な特性、盛土安定性、強度により、様々な用途に対応することができます。



用途

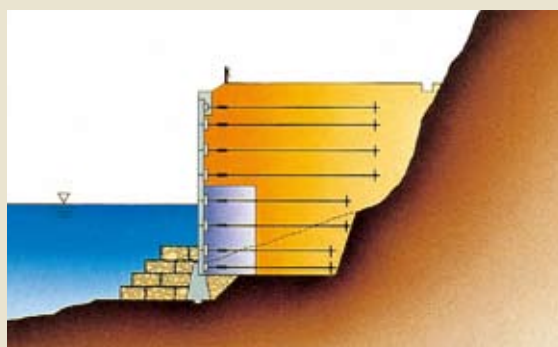
1 道路(ロックアンカー)

壁体背面に掘削が困難な岩盤がある場合は、ロックアンカーによる施工が可能です。



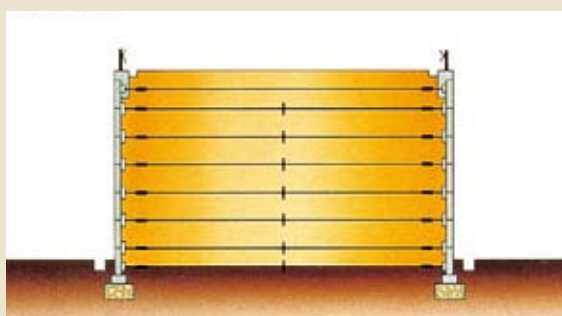
2 水辺

ハイ・ウォーターのレベルが壁面に達するような場合は、壁側の盛土を粒調砕石に置き換えることにより施工できます。

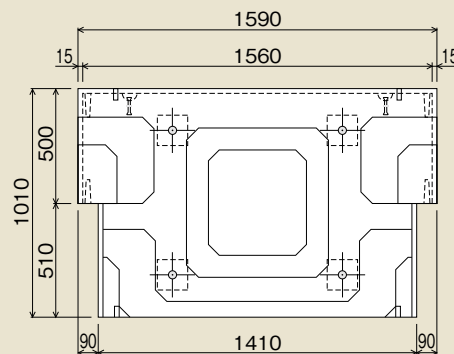


3 橋梁取付道路

両面壁の場合は、両壁をタイバーで結び、間にアンカープレートを取り付けて擁壁を構築します。



標準タイプ (TA)



●寸法表

	呼称	規格寸法	m ² /枚	kg/枚	適用
標準タイプ	TA	115×1000×1600	1.50	359	基本形状
	TB	115×1000×1500	1.45	336	左端部用
	TC	115×1000×1500	1.45	336	右端部用
基礎タイプ	DA	115×500×1600	0.80	204	基本形状
	DB	115×500×1500	0.75	181	左端部用
	DC	115×500×1500	0.75	181	右端部用
天端タイプ	UA	115×500×1400	0.70	187	基本形状
	UB	115×500×1400	0.70	186	左端部用
	UC	115×500×1400	0.70	186	右端部用

●土質等の条件により、タイバーが短いものもあります。